

時間割番号	K01102	科目名	平和学	単位数	2
担当者	清水 文裕				
開講学期	2015年度 前期	開講年次	2	授業方法	講義
ナンバリング	OC0-1810				
コア・アクティブラーニング科目群					
コア・アクティブラーニング授業形態					
コア・アクティブラーニングのキーワード					
概要	<p>・平和を考えることは、命の大切さを見詰め直すことです。科目名にサブタイトルを付けるなら「命－人間が人間らしく生きるために」。原子爆弾は人間と都市にどのようなことをもたらしたのかを事実に基づいて科学的に検証し、核時代をどう生きるかを一緒に考えましょう。</p> <p>・核分裂の発見によって国際社会はどのように変化したのでしょうか。冷戦中と冷戦後の世界、原子力発電の課題、アジアや米国の原爆観など、多角的な学びで考えを深めましょう。</p>				
教育目標との関連	<p>・この科目は、共通教育の目標である「基礎的人間力」の育成を目指しています。</p> <p>・領域では「視野を広げる」のなかで、ひろしま・日本から国際社会を理解する分野「国際」に位置づけられています。</p>				
到達目標	<p>・“3つのチカラ”をこの授業で磨いてください。①過去の出来事を現在の日本や世界に結び付けてとらえる力 ②歴史を自分のこととして受け止める力 ③その意味を考察する力です。</p> <p>・さらに、考えたことを他人に伝える力も高めよう。</p>				
評価方法	<p>・毎回の「記入用紙」55%、中間レポート20%、期末レポート25%。</p> <p>・「記入用紙」の比率を高めた理由は、1回1回の授業を大切にしたいから。考えたことや意見を毎回書いてもらい、プラス評価をして加算します。マイナス評価はしません。</p> <p>・最終評価は「伸びたか」「力をつけたか」を重視します。</p> <p>・試験はありません。</p>				
備考					
テキスト・教材・経費等	<p>・プリントを配布します。</p> <p>・教科書は使いません。</p>				
授業計画	<p>第1回 きのこ雲の下でどんなことがあったかⅠ 初期の手記を読んで考える</p> <p>第2回 きのこ雲の下でどんなことがあったかⅡ 被爆した少女の写真から見えてくることは？</p> <p>第3回 被爆地復興Ⅰ 雑草の芽吹きにあなたは感動したことがありますか</p> <p>第4回 被爆地復興Ⅱ 「生きる勇気と希望の都市」の礎を築いた先人に何を学びますか</p> <p>第5回 被爆地復興Ⅲ 報道特番「ヒロシマを遺した男」どのように受け止めますか</p> <p>第6回 原子力の「平和利用」Ⅰ 日本の原発政策の源流と現状、福島原発事故の教訓</p> <p>第7回 原子力の「平和利用」Ⅱ 核のごみ・プルトニウムの問題点を探る</p> <p>第8回 核時代突入～核分裂の発見、第二次世界大戦終結、そして冷戦時代の世界</p> <p>第9回 冷戦終結～その意義と、終結後の国際政治を考える</p> <p>第10回 旧日本軍による住民虐殺と広島～アジアの原爆観</p> <p>第11回 米国スミソニアン論争～原爆投下国の原爆観</p> <p>第12回 被爆70年 核時代をどう生きるか～映画「ヒロシマ 母たちの祈り」</p> <p>第13回 昭和20年代の助産院～被爆による人体影響が解明し尽くされていない理由を探る</p> <p>第14回 あなたと同世代で被爆した人のインタビュー番組～「残したい」と思った言葉は？</p> <p>第15回 原爆と人間～皆さんの「記入用紙」を教材にしてグループ・ディスカッション</p> <p>【注】ニュース運動型とするためや皆さんの到達度によって、授業計画を変更することがあります。</p>				
準備学習（予習・復習）	<p>・この授業の合言葉は「自学自修」です。学ぶ意欲を期待します。</p> <p>・教材は持ち帰って必ず読み直しましょう。授業の時には気づかなかつた発見がきっとあります。それを次回の「記入用紙」の復習欄（成績の評価対象）に書いてください。復習に少なくとも1時間は必要です。</p> <p>・新聞やテレビなどで ①平和 ②戦争・内戦・紛争 ③国際政治・国際社会 ④人間の生き方 ⑤命にかかわる情報を収集したうえで授業に臨んでください。</p> <p>・皆さんが書いた「記入用紙」を教材として使ったり、グループ・ディスカッションを随時行ったりして理解を深めてもらいます。積極的に参加して、あなたの力を伸ばしましょう。</p>				
免許・資格					
免許・資格の科目区分					